

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

学校法人 椿本学園
大阪社体スポーツ専門学校

令和6年度 事業報告

1. 教育活動状況

「教育体制」

現在の教育は、ICT 授業ツールや教材などの活用が求められており、それに対応するために教員研修や専門家派遣の企業連携を締結するなど教育の質向上を具現化した取り組みを行った。学生教育においては、多様化する学生個々の環境に対して教員全体での情報共有を行い、学生のフォローアップを丁寧に対面中心で行う体制を整備した。特に学生個々に対する家庭や生活環境における悩みや相談を重視しコミュニケーションを図りながら、学生の修学に対して意欲向上に注意力を注ぐことを組織的に取り組んだ。

資格試験対策も対策授業の時間や日数を増やし、合格率が 100%になるよう努めた。その結果、難関のアスレチックトレーナーや健康運動実践指導者資格合格者が増加し目標を達成できた。他の資格試験の合格率も向上していることから次年度に向けてこの体制を維持する。

「宿泊研修、インターンシップ」

4 月末 1 年生を対象に 1 泊 2 日のフレッシュマン研修を新しい環境である学校生活に早く適応でき慣れ親しむことが出来ることを目的に実施した。宿泊研修を通じて専門学校に入学した目的をグループ活動により互いの考えを知ることから本校で学ぶことの必要性を認識させ学生自身の学校への帰属意識を高めることを目指した。さらに社会人として求められる人材育成の教育を受ける意義の理解を深めさせ、教員と学生の価値観を共有することができた。

1 月末には、1 年生全員を対象としたレベルアップ研修を 2 泊 3 日で行った。1 年生としての仕上げの教育研修としてだけではなく、2 月に行くインターンシップに向け、知識だけではなく、社会人としての立ち居振る舞いを身につけることを目的として行った。そのため、学生もしっかり前向きに取り組む姿勢が多く見受けられた。内容については、現場の講師を招き新入社員研修で行われるプログラムを取り入れ、学生が現場で求められている社会人基礎力を身につけさせることができた。

インターンシップにおいては、1 年生も 2 年生も各コースともに昨年より多くの企業が受け入れを実施していただけるようになった。インターンシップ実習では、学校での学びをどれだけ現場で発揮することができるか、更には身につけている実践的なスキルをどのようにしてアウトプットするのか等、学生の積極的な取り組みを発揮する場となり有益であった。

「クラブ活動実績」

今年度の専門学校の課外活動について本学は、関西専門学校体育連盟主催大会においては、5 種目に出場し、テニス部の男女団体優勝、バレーボール部男子優勝、バスケットボール部男子 3 位であった。全国大会へはテニス部の男女、バレーボール部男子、バスケットボール

部男女、バドミントン部が出場した。

全国大会の結果は、テニス：女子団体優勝、シングルス優勝、男子団体3位、バスケットボール部男子入賞、バドミントン混合ダブルス入賞の結果を残した。

「森ノ宮医療学園とのWスクール状況」

森ノ宮医療学園専門学校と提携し行っているWスクールについては、AT医療特修コースの1名が鍼灸学科に在籍中である。3年目の学修を終えた柔道整復学科1名が国家資格に合格することができた。令和7年度のAT医療特修コースおよび森ノ宮医療学園からの入学者予定者はいない。

2. 学生募集

入学者は、留学生の入学が増え昨年より微増であった。

2024年4月入学者： 73名（健康スポーツ科： 62名 専攻科： 11名）

2025年4月入学者： 86名（健康スポーツ科： 80名 専攻科： 6名）

昨年着手した新たな取り組みである留学生の募集活動において入学実績校との情報交換を積極的に行うとともに進路ガイダンスへの参加回数を増やし、留学生との接触を増やすことでオープンキャンパスへの動員増に繋げることができた。また、入学者が増加している通信制高校にも訪問、進路ガイダンスの参加など積極的に広報活動を行い、本校の認知度を高める取り組みの一環として高等学校への出張授業及びテニスクラブやスイミングスクール等、スポーツ関連施設へのポスター掲示依頼を行うなど細部にわたる募集活動を行った。

3. 就職支援状況

今年度の就職も売り手市場になり、求人数も増えていることに安心せず、例年通りに早い時期から学生の就職意欲を高めるように就職担当とコース担当が連携を取り進めながら就職指導を行った。希望の就職先を求めて積極的に就職活動を行う学生がいる反面、学生の就職観において「やりがい」よりも「条件面（給与・休暇・安定性など）」を重視する傾向が強まっている傾向が伺えた。就職指導の結果は、進学者等も含めると98.5%と昨年に引き続き好調な進路決定率を確保することが出来た。

警察官・消防官コースについては、対策講座の開催や模擬面接指導を充実させることにより、より一層のサポート体制を整備した結果、消防官が3名、警察官3名であった。

4. 人事採用状況

教員2名が、2025年3月で退職した。このことによって教員を1名を補充した。

5. 施設整備状況

キュービクル周辺の老朽化により、高圧ケーブル・高圧機器更新工事を行った。